

とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報誌



雪のあと (大房)

光龍会 織田 茂雄 氏作

11月臨時会
12月定例会

No.121

2013.2.1

平成 24 年第 1 回議会臨時会の議決等結果	2
平成 24 年第 1 回議会臨時会 議案概要	
平成 24 年第 4 回議会定例会の議決等結果	3
平成 24 年第 4 回議会定例会 議案概要	4
空き家等適正管理条例の制定を求める請願	5
教育予算の拡充を求める請願	
町政のここが聞きたい (一般質問)	6
第 2 回議会報告会開催のお知らせ	9
利根町議会日誌 (平成 24 年 10・11・12 月)	10
お知らせ	

平成24年第1回議会臨時会の議決等結果 (町長提出議案)

会 期 平成24年11月12日(月) 実質審議日数1日間
審議議案 町長提出議案1件

件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別											
		賛成	反対	新井	花嶋	船川	守谷	坂本	高橋	井原	今井	若泉	白旗	五十嵐	
町長提出議案 平成24年度利根町一般会計補正予算(第5号)	原案可決	8	2	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
	討論													反	

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「賛」は賛成討論、「反」は反対討論を表します。



平成24年第1回議会臨時会 議案概要

平成24年度利根町一般会計補正予算(第5号)【可決】

予算額に歳入歳出それぞれ3億9597万2千円を追加し、総額58億2501万9千円となりました。歳入の主なものは、放射線量低減対策緊急補助金3億2579万7千円増額等であり、歳出の主なものは、放射線対策事業3億9477万2千円増額などです。

反対討論 白旗議員

今回の議案61号のうち、放射線対策事業3億9477万2千円の予算案に、私は次の理由で反対します。

去る8月の放射線量詳細調査によると、毎時0.30マイクロシーベルト(以下 μSv)を超える地点は少なく、ほとんどの測定点で基準値0.23 μSv 未満か、超えても僅かに超える程度でした。総体的に線量が基準を下回っている利根町の場合、一般町民や児童生徒が毎時0.23 μSv 、年間1mSvの放射線にさらされることは100%あり得ないことです。例えば、一部地点で毎時0.35 μSv を示す利根中の第2グラウンドで毎日5時間、年間250日部活をした場合でも年間の被ばく量は0.39mSvでしかありません。つまり、毎時0.35 μSv であっても、滞在する時間が少なければ、年間1mSvには至らないのです。無用な除染はやめて、国の補助金をもっと深刻な状況にある東北の除染対策や復興に使ってもらい、町のお金は教育などもっと別の事業に使うべきと思います。

平成24年第4回議会定例会の議決等結果

(町長提出議案・請願)

会 期 平成24年12月4日(火)～12月10日(月) 実質審議日数5日間
 審議議案 町長提出議案9件(諮問含)・請願2件

件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別													
		賛成	反対	新井	花嶋	船川	守谷	坂本	高橋	井原	今井	若泉	白旗	五十嵐			
町長提出議案	平成24年度利根町一般会計補正予算(第6号)の専決処分について	原案承認	9	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成24年度利根町一般会計補正予算(第7号)	原案可決	9	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成24年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	9	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成24年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	9	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成24年度利根町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	9	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成24年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	9	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	財産の取得について	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	利根町教育委員会委員の任命について	同意	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願	空き家等適正管理条例の制定を求める請願 条例概要1 (P5参照)	採択	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	条例概要2	採択	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	条例概要3	不採択	2	8	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	—	
	教育予算の拡充を求める請願	採択	8	2	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表します。

平成24年 第4回議会定例会 議案概要

平成24年度利根町一般会計補正予算(第6号)の専決処分について……………【承認】

予算額に歳入歳出それぞれ1135万4千円を追加し、総額58億3637万3千円となりました。歳入歳出の詳細は、衆議院議員選挙による増額です。

平成24年度利根町一般会計補正予算(第7号)……………【可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1995万9千円を追加し、総額58億5633万2千円となりました。歳入の主なものは、防災対策事業交付金3000万円増額等であり、歳出の主なものは、環境衛生費「放射線対策事業」1912万5千円減額、財政調整基金費1300万円増額などです。

平成24年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)……………【可決】

事業勘定については、予算額に歳入歳出それぞれ1億1864万2千円を追加し、総額25億4060万8千円となりました。歳入の主なものは前期高齢者交付金で、歳出の主なものは財政調整基金費などです。

施設勘定は、予算額に歳入歳出それぞれ82万5千円を追加し、総額1億1231万2千円となりました。歳入は財政調整基金繰入金で、歳出は臨時雇人賃金です。

平成24年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第2号)……………【可決】

債務負担行為の町営霊園環境整備業務委託311万9千円の増額です。

平成24年度利根町介護保険特別会計補正予算(第2号)……………【可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1973万9千円を追加し、総額11億4126万円となりました。歳入の主なものは介護給付費負担金で、歳出の主なものは特定入所者介護サービス費などです。

平成24年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)……………【可決】

予算額に歳入歳出それぞれ762万5千円を追加し、総額3億227万2千円となりました。歳入は繰入金で、歳出は後期高齢者医療広域連合納付金です。

財産の取得について……………【可決】

消防ポンプ自動車を取得するものです。

利根町教育委員会委員の任命について……………【同意】

利根町教育委員会委員を任命するものです。

人権擁護委員候補者の推薦について……………【適任】

人権擁護委員候補者を推薦するものです。



利根町教育委員会委員

住所 利根町大字羽根野 800 番地 314

氏名 武谷 昭子 任期 平成 25 年 1 月 1 日から 4 年間

人権擁護委員(諮問)

住所 利根町大字布川 2511 番地 13

氏名 村井 守 任期 平成 25 年 4 月 1 日から 3 年間

空き家等適正管理条例の制定を求める請願

請願者 早尾台自治会長 熊倉 徹 外7自治会長
紹介議員 守谷貞明・白旗修・若泉昌寿・高橋一男
新井邦弘・船川京子・今井利和・坂本啓次

利根町住宅団地内にも放置され荒廃した空き地・空き家数が増大しており、その周辺住民は住宅環境の悪化・火災と犯罪発生の危険を大変懸念しており、生活環境の維持と各種不安及び災害等の発生を未然に防ぐための利根町条例の制定と施行を求めるもの。

「条例概要」

1. 町民は、生活環境の保全に支障をきたしている「空き地・空き家」例えば、
 - ① 倒壊による身体又は財産に被害を受ける恐れがある。
 - ② 火災や不審者の侵入等による犯罪誘発の危険がある。
 - ③ 樹木植栽等の繁茂により、交通及び住環境の障害になっている等。管理不全の空き地・空き家の存在に気が付いた場合は、行政に通知出来る。
2. 1項の通知を受理した時、町長の責任で直ちに調査を行う。
3. 2項で管理不全と認めた場合は、行政が当該空き地・空き家の所有者に勧告を行い、勧告に応じない所有者に対して行政代執行を行い、住民の安全確保と生活環境の保全に努める。

請願は、総務産業建設常任委員会へ付託された。総務産業建設常任委員会で慎重に審査され、12月10日の本会議で委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があり、条例概要1・2は全員賛成により採択、条例概要3は賛成少数により不採択となった。

教育予算の拡充を求める請願

請願者 茨城県教職員組合 高野 富二男
紹介議員 花嶋美清雄・白旗修・今井利和・坂本啓次
高橋一男・新井邦弘・守谷貞明・若泉昌寿

次のことについて、意見書の提出を求めるもの。

- ・きめ細かな教育の実現のために少人数学級を推進すること。
- ・教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- ・東日本大震災における教育復興のための予算措置を継続して行うこと。

請願は、厚生文教常任委員会へ付託された。厚生文教常任委員会で慎重に審査され、12月10日の本会議で委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があり、賛成多数により採択となった。

人 事 案 件

農業委員会委員の推薦 任期 平成25年1月1日から3年間

住所 利根町大字羽中1035番地 氏名 小倉 美代子
住所 利根町大字押戸1214番地 氏名 関 栄子

問 児童クラブにクーラー設置の予定は

答 予算内で可能なら設置の方向で進める

船川京子議員

問 布川地区コミュニティセンターは、利根町生涯学習センターと同様に地方自治法に基づいて運営されているが、ポスターの掲示や政治、宗教団体等の利用に対する制限及び禁止をしている。しかしポスター等が掲示され町政懇談会等も行われているが、支障をきたすような事実はなく、条例で利用の禁止や制限をする必要性が見えにくい。町民からも施設の活用範囲が広がることは町の活性化にもつながるとの意見が寄せられている。町の見解を問う。

答 多くの方が利用されるので、条例上はある程度厳しくしなければならない。住民が使いやすくなるのであれば、今後検討していく。

問 放課後子ども教室では保健室の利用が可能であり、放課後児童クラブで

は、専用スペースを確保することを国は示しているが、町の現場における対応を伺う。

答 町としては必要があれば保健室等の利用ができるようになっている。

問 児童クラブの居場所確保には難しい課題があると思うが、児童の安心安全な居場所づくりに向け今後の対応を伺う。

答 学校統合に伴う児童数の増加や1年生、2年生の教職員の定数配置問題、1クラスの少人数化また特別支援学級の教室準備等、空き教室の確保は困難であり現状維持を余儀なくされている。運営制度問題や助成制度の創設など国にも働きかけ、安心安全な居場所づくりを目指していく。



問 個性を伸ばす教育をどのように実現しているか

答 集団活動を通じ個性を磨き合うように指導している

白旗修議員

問 中学校で、できる子はできる子なりに、できない子はできない子なりに一人ひとりをどう教育しているのか。例えば、英語の教育ではどうか。

答 英語については、コミュニケーションへの関心・意欲・態度、表現力、理解力、言語や文化についての知識・理解といった観点から評価している。

問 英語力はそのような観点では評価できない。一般に外国語能力は、読む・書く・聞く・話すの4技能で評価する。TOEIC（国際的英語能力試験）など公的な試験の評価要素は、この4技能だ。

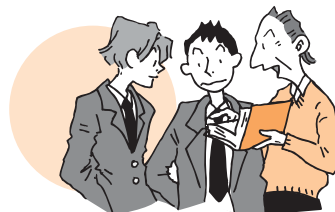
町は国や県の指導要領に従っているのだろうが、これでは英語の能力を高め、能力に応じた教育はできないと思う。教育委員会はこういう問題を根本的に変える考えはあるか。

答 町教育委員会は、国や県の方針に従って、現在の観点別評価基準で評価するのが当然と思っている。

問 この問題に限らず、国や県がいうことが絶対正しいとは限らないと私は思う。国・県の指導のほかに、町独自の工夫もしていただきたい。

次に数値化できる評価要素はもっと数値化すべきでないか。現実社会では、スポーツ界など数値で評価しているものが多い。

答 できるだけ数値で評価する努力はしている。ただ、数値化できないものもある。



問 職員の服務規定違反はありましたか
答 過去5年で5名、内懲戒処分3名

守 谷 貞 明 議員

問 私は有る住民から相談を受けました。7年前、82歳になる祖母が自転車で転倒し頭を強打、側溝に落ちて死亡。本人が県民交通災害共済に加入していたので、役場の総務課に共済の申請をしたところ、このケースでは見舞金2万円ですよと言われた。それでは、しょうがないと諦め、帰る途中、役場駐車場で顔見知りの総務課員にその話をした所、「車にぶつからないと、出ない」と言われた。7年後の昨年9月、総務課に用事があり、そのついでに交通災害共済のパンフレットをもらい、自転車による転倒、転覆による事故も対象で、死亡の場合は100万円出ること知り、抗議した。数日後、総務課員から電話があり、「以前の事だから時効で出ません。」当時の担当者は、「昔の事だから覚えていない。」と言ったそうです。問題は、最初に対応した職員が、申請者に共済の書類を見せながら、相手が納得する説明をしていないことに有

ります。事故証明を出せば、100万円出ると伝えていない。職員の曖昧な知識による不適切な対応が、住民の得べかりし利益を損なう結果を招きました。共済事業書を確認する作業を怠った。職務怠慢がもたらした不幸な事ですが、町長は、どのようにお考えですか。

答 原則的に住民が町の原因でこうむった不利益の回復については、それなりの対応を考えることは、当然だと思う。当時、私は町長職ではなかったもので、今日、初めて聞きました。事故の翌日から2年で時効になるということですが、その当時の状況など把握できません。当時の状況に溯って調査する必要があると思います。調査委員会を立ち上げて、厳正に調査し、対応していきたいと考えています。

問 町長の再出馬の考えは

答 再度町政に携わって参りたい

坂 本 啓 次 議員

問 町道112号線、文間保育園前の道路拡幅計画の進捗状況はどうなっているか。

答 立木の保育園周辺から文間小学校までの間を、順次用地買収を行い工事に着手する予定です。道路ですが、片側一車線の2m75cm、センターラインが入り5m50cm、その脇に路側帯を取り3mの歩道を作る予定ですが、今年度設計が終わりまして用地買収が始まり、5・6年の計画でいます。

問 町長の任期も約半年余りとなりました。3.11の震災では迅速適切な指揮をとり、町民の安心安全に力を出しました。また、4年制大学を誘致し町活性化の要因となりつつあり、空き家対策等の活用状況も良い方向に向かっているところです。他にも、中学生までの医療費の無料化、シルバーリハビリ・フリフリグッパ・立木地内のメガソーラー事業等、数多く取り組んでいるところですが、まだまだ町長としてやり残したところであると思うが、そこで再出馬の決意があればお聞かせ下さい。

問 スーパー堤防事業の今後の事業計画はどうなっているか。

答 平成24・25年度で河川都市基盤整備事業として、国のほうから5億7千万円の予算を付けていただき住宅移転土地に盛り土工事を行っているところです。

答 地震災害ばかりじゃなく、台風・豪雨などによる風水害を想定した防災計画を見直し住民の安全安心を図り、議員・町民の皆様のご協力を得ながら、再度町政に携わって参りたいと思っています。

問 防災マニュアルは役に立ったか

答 見直しが必要である

問 震災時における職員の防災マニュアルが、平成11年に用意されました。東日本大震災の際には、そのマニュアルは役に立ったのでしょうか。

答 今回の大震災につきましては、各部の対応がスムーズに行われませんでした。具体的には、初動体制の不備として、水の供給や避難場所の運営等です。特に水の供給に関しては、給水場所が2カ所ありますが、住民の方が並んでしまいスムーズに給水出来ない事態となりました。これらを踏まえて、今年度中に職員の初動体制の防災訓練を実施したいと考えております。平成25年度中には地域防災計画を見直し、その中で給水や拠点となる避難場所についても考えていきたいと思っております。

問 震災時における避難場所と備蓄品に関して伺います。

問 安全・安心・安定の地域づくりについて

答 第4期基本計画に沿って進める

問 常陽新聞に掲載した、利根町の安全・安心・安定の地域づくりについて伺う。

答 自主財源の確保や行政改革の推進などに取り組む。第4期基本計画を策定している。この計画に沿って進める。

問 町政報告会の中で議会を傍聴した人が、議員の質問内容が幼稚でがっかりしたとの声に、町長は「その程度の議員だ。」と、この言葉は優劣の度合いを表す言葉だ。

答 災害時に、議員が3名しか来なかった。その程度の言葉は、報告会に来た住民が言った言葉だ。議員もいろいろやっている。財源の確保が具体的にあれば提案を願いたい。

問 衆院が解散になって廃案になった法案もある。再生エネルギーは国が力を

花嶋 美清雄 議員

- (1)避難場所の夜間対応について。
- (2)避難場所が15カ所指定されているが、そのすべてに備蓄が用意されているか。
- (3)備蓄品に関する情報を、町民に知ってもらう為にどのようなことをしていくか。

答 (1)職員の勤務時間内については施設管理者が、職員の勤務時間外においては、教育委員会が担当する避難・教育対策部が行います。
(2)すべての指定避難場所に備蓄品等があるのではなく、例えば、毛布を保健福祉センターと旧東文間小学校に、食料に関しては生涯学習センターの防災倉庫にというように、まとめて備蓄しています。
(3)備蓄品の中でも、特に住民に関心の高い飲料水・毛布・食料につきましては、町のホームページへ掲載していきたいと考えております。

井原 正光 議員

入れているので、今後成立が見込まれる。あとは、行政で勉強することです。

選挙運動か分からないが、町長は行政のPRに、建設業界・商工会・常陽銀行などにお金を出させ宣伝した。新聞での政策の発表は、自分のマネーで自己宣伝することです。ところで、町長は農業を町の基幹産業だと思っておりますか。

答 新聞社の方が、企業にあたってスポンサーをお願いした。利根町の農業を基幹産業だと思っております。

問 基幹産業だと思うなら、町独自の方向性を示すべきだ。示せない人に将来の首長は任せられません。農業を議論する公募制の場の設置についての考えは。

答 農業がよくなるような委員会であれば設置してもよい。

問 町長は議会を軽視している

答 庁議で意思決定のち町民に伝えた

若 泉 昌 寿 議員

問 遠山町長はこれまで正式に決まってい
ない事業について、早々と町民に対
し公の場所で知らせてきた。これは議会を
軽視していると言える。例を上げると、立
木地区に計画されているメガソーラー事業
に関して議会に対し何も説明しない。前に
遠山町長は、8月に開催された納涼花火大
会のあいさつの中でマイクを通して話をし
ている。通常、町が計画を立てた事業につ
いて、まず議会に対し説明をし、議会と行
政がお互いに努力研究をし、町のためにな
るのか判断をしながら事業を進めて行くの
がやり方だ。今回のような事をされると、
町民の方々は決ってもいけないのに出来
るものになってしまう。現に我々議員は、
町民の方に聞かれても答えられなかった、
議員として非情に情けない思いがした。
町長は全協の中で一部の議員には説明を
したと言っているが、それで議員に対し
て説明したと思っているのなら、それは大
間違いだ。

議会と良く協議してから町民に話をし
ても遅くない。町長の答弁は議会を軽視
し改めようとする。

答 町で行う事業、庁議の中で意思決
定した事業に対しては、タイミングが
整えば議会より先に町民に説明する事も
ある。今回なぜ町民に説明したかという
と、土地利活用について町民に説明する
義務がある。決して議会を軽視してい
るつもりはない。一部の議員には話を
している。その上で私は納涼大会の時、
町民に対して説明をした。メガソーラー
事業が決定したとは言っていない、計
画があると言った。若泉議員はこのよ
うな事をするとう町民は混乱するおそ
れがあると言うが、そんな事はない。
それよりもメガソーラー事業はタイミ
ングが整ったと判断し、町民に対して
説明責任があるので私は議会より先に
知らせた。あくまでも町長としての考
えで行った。

第2回議会報告会 開催のお知らせ

利根町議会では、議会の活動を町民の皆様にお知らせし、町民に開かれた議会づくりを目指しております。

その一環として、町民の声を町政に反映し、「誰もが安心して豊かに生活できる元気なまち」づくりを進めるため、第2回議会報告会を開催します。

どなたでも参加できますので、皆様のご来場をお待ちしております。

○日時 4月20日(土) 午後1時30分～

○場所 利根町公民館

利根町議会日誌

(平成24年10・11・12月)

平成24年12月31日現在

月	日	曜日	活動内容
10	4	木	放射能等災害対策特別委員会
	〃	〃	メガソーラー事業誘致検討特別委員会
	5	金	利根町都市計画審議会
	7	日	第41回町民運動会
	11	木	龍ヶ崎地方衛生組合議会行政視察(12日まで)
	15	月	広報編集委員会
	〃	〃	メガソーラー事業誘致検討特別委員会
	16	火	平成24年第1回4団体連絡会議
	17	水	平成24年度県南町村会行政視察研修(18日まで)
	18	木	平成24年第3回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会臨時会
	21	日	第29回利根町テニス大会
	〃	〃	第63回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南南部地区大会
	23	火	全員協議会
〃	〃	メガソーラー事業誘致検討特別委員会	
24	水	利根町土地利用推進協議会「第5回小委員会」	
25	木	龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会視察研修(26日まで)	
26	金	利根町小・中学校音楽を楽しむ会	
29	月	利根町議会視察研修	
30	火	平成24年第2回龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会	
31	水	県南町村議会議長会	
11	1	木	町村議長行政視察(2日まで)
	3	土	第28回利根町文化祭
	〃	〃	第5回利根町地場産業フェスティバル

11	7	水	議会運営委員会
	〃	〃	全員協議会
	8	木	常磐線東京駅乗り入れ促進大会
	9	金	第26回国保カップゲートボール大会
	12	月	平成24年第1回臨時議会
	〃	〃	メガソーラー事業誘致検討特別委員会
	14	水	第56回町村議会議長全国大会
	15	木	全員協議会
	〃	〃	4団体と知事との県政要望懇談会
	16	金	平成24年度県南町村議会議員大会
	17	土	取手北相馬保健医療センター医師会病院創立30周年記念祝賀会
	18	日	第29回利根町長杯争奪バレーボール大会
	19	月	茨城県南水道企業団視察研修(20日まで)
	22	木	平成24年第2回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
	27	火	議会運営委員会
	〃	〃	メガソーラー事業誘致検討特別委員会
	〃	〃	全員協議会
29	木	平成24年第2回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会	
〃	〃	利根町土地利用推進協議会「第6回小委員会」	
12	2	日	平成24年度取手地区地域安全運動推進大会
	4	火	平成24年第4回定例議会(10日まで)
	〃	〃	メガソーラー事業誘致検討特別委員会
	20	木	利根町土地利用推進協議会「第7回小委員会」
22	土	県知事との懇談会	

お知らせ

町議会を傍聴しましょう！

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し、審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回、11月臨時会・12月定例議会の傍聴者は延べ85名でした。

次回の定例議会は3月5日(火)から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

町議会の詳細は議会会議録で！

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町ホームページ (<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>) でも見られます。

発行/利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 68-7990

発行責任者：利根町議会議長 五十嵐 辰雄

編集担当：若泉 昌寿/高橋 一男